

丹後学園だより

令和8年7月10日 NO.6 丹後学園事務局 75-0126

学園教育目標

夢と希望と創造性あふれる豊かな心を持ち、
未来に向けて主体的に生きる子どもの育成

丹後ブロック中学校陸上競技選手権大会 多くの生徒が挑戦しました

6月13日、丹後ブロック中学校陸上競技選手権大会がありました。丹後中学校からは補助員も含めて35名の生徒が参加しました。全校生徒の47%が参加しました。この大会に向けて、部活動が終わってから約1時間、3週間にわたって練習を続け、自分が選択した競技に挑戦しました。

前日の壮行会では、校長先生から「誰かに言われたからやるのではなく、『もっと強くなりたい』『自分の限界を超えたい』という強い意志を持って多くの生徒が主体的に参加し練習に向き合ってきたこと、一人の力では到達できなかった場所に、チームの力、仲間の支えがあったからこそ今ここに挑戦しようとしていること、支えてくれた方々や背中を押してくれた家族、そして、ともに汗を流した仲間への感謝を胸に競技場の風を感じてほしいこと、そして、結果がどうであれ、主体性を持ち仲間と協働し果敢に挑戦したプロセスこそが大きく成長させてくれること」などの激励の言葉がありました。



天候にも恵まれ、力いっぱい競技に臨み、練習の成果を発揮することができました。また、仲間の応援もしっかりでき、一体感を感じました。

【校内で表彰式を行いました。】

小中連絡会 小・中の連携を密にとり、10年間のスパンで成長を支援します

6月15日、丹後小学校と丹後中学校で小中連絡会を行いました。丹後小学校の先生が、1年生の授業を参観され、状況交流等を行いました。6月1日には、こども園と小学校で連絡会を行いました。



子どもたちにとって環境が大きく変わる小学校入学時、中学校入学時にスムーズに進学でき、子どもたちが健やかに成長できるように学園として協議を進めていき、実践を深めていきます。

丹後中学校 語り＋読み聞かせ

6月16日、丹後中学校では、語りと読み聞かせを行いました。子どもたちは、何も見ずに物語を語るボランティアの皆様の語りに聞き入っていました。





「語り」は、話し手が物語を暗記し、自分の中に取り込んだ上で聞き手に届ける表現です。文章をただ読むのではなく、登場人物の心情や場面の意味を声や間で表現し、聞き手に臨場感を与えます。人物ごとに声色や話し方を変え、場面や心理的距離感を反映させることも特徴です。語りは昔話や口承文芸に多く用いられ、聞き手と同じ空間で時間を共有することで、見えないコミュニケーションが生まれます。

丹後小学校 読み聞かせ

6月17日、丹後小学校では、ボランティアの方々にお世話になり、読み聞かせを行いました。子どもたちは、ボランティアの皆様の読み聞かせに聞き入っていました、こども園、



小学校、中学校で、本に親しむことをねらいにして、読み聞かせ、語りなどの取組を行っています。本好きの子どもたちになってくれることを願っています。

日々の気づきが、子どもたちの興味や好奇心を高める



野菜の観察記録

こども園では、トマト、トウモロコシ、キュウリ、スイカなどを栽培しています。毎日子どもたちは、水やりなどをしながら、観察を続けています。また、たくさんのザリガニをいただき、観察したり、絵に描いたりしています。

朝の会などで、園児の気づきを出し合います。この気づきが、物事への興味関心を高めると考え、大切にしています。

丹後学園授業研究会を行いました

6月17日、丹後こども園、丹後小学校、丹後中学校の教職員が一堂に会し、授業研究会を行いました。丹後小学校3年の社会科「わたしのまち みんなのまち（市の様子）」、5年



の社会科「あたたかい土地の暮らし」を参観し、子どもたちの学力をさらに充実させるために協議を行いました。

学園の子どもたちの状況をもとに、学力充実を目指して、授業改善に役立てていきます。

「令和8年度丹後学園 研究のテーマ」

—ことばで伝え合い、主体的に学ぶ子の育成にむけて—

「子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり～教師主導から子ども主体へ～」

授業づくりの重点

- ① 「探究的な学び」を充実させる。
- ② ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させる。
- ③ 「対話的な学び」を充実させる。
- ④ 授業とつながるコンピュータの持ち帰り学習を推進する。